

# 憩いの庭

北新潟キリスト教会新聞 9

2017年9月3日(日)発行(季刊)

「主は私の羊飼い。  
主は私を緑の牧場に伏させ、  
いこいの水のほとりに伴われます。」  
(旧約聖書・詩篇23篇1～2節)

## 「幼子をイエスさまのもとに」

牧師・原山康伸

今から800年ほど前、フリードリヒ2世(1194年～1250年)というローマ皇帝がいました。皇帝は知的好奇心に満ちた人でした。あるとき彼は、「人間にもし言葉を教えなければ、何語を話し始めるだろうか」という疑問を抱きました。そして権力にものを言わせて、ひとつの実験をしたのです。皇帝は生まれたばかりの多くの乳飲み子を母親から引き離し、乳母たちに授乳させました。ただし乳母たちには、乳飲み子たちにひと言も語りかけてはならないと命じたのです。実験の結果はどうだったのでしょうか。乳飲み子は一人残らず死んでしまったのです。フリードリヒ皇帝の言語・ことばに関する恐ろしい実験は失敗しましたが、その実験結果は、人間について大切なことを明らかにしました。人間は、たとえ物質的・肉体的な必要が満たされていても、愛される経験、語りかけられる経験、人格的交流がなければ生きることが出来ないものなのだという事実です。

ところで、全世界と私たち人間を創造された父なる神さまは、聖書のみことばを通して私たちに次のように語りかけておられます。「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」(イザヤ書43章4節)。また、同じ旧約聖書のエレミヤ書31章3節に「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した」と、神様は聖書のみことばを通して語りかけておられます。いったい、私たちはどこから来てどこへ行くのでしょうか。人生の途上において、あなたはこの見えない神からの語りかけを聞いておられるでしょうか。神がおられ私たちが愛しておられるならば、その証拠を見せてほしいと言われるでしょうか。実は、目に見えない神さまの愛の結実こ



そ、約2000年前にこの世界に来られた神のひとり子イエス・キリストが、十字架上で古今東西のすべての罪人の身代わりに犠牲の死を遂げられた事実なのです。神は、尊い御ひとり子イエス・キリストを、私たちの如何ともしがたい原罪の身代わりに、十字架上の死を遂げさせられました。それは私たちを罪と死の束縛から解放して、自由の身としてくださるためでした。神のひとり子の犠牲のうちに、イエスを神の子キリストと信じる人は罪赦され義と認められ、自らの生を生きることができる者とされます。

「わたしの目にはあなたは高価で尊い。」「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。止めてはいけません。神の国は、このような者たちのものです。」「イエスさまはそのように言われ、子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福されたのです(マルコの福音書10章13～16節)。去る7月18日(火曜)、天に召されたクリスチャンドクター日野原重明先生も、子供たちへ『いのちの授業』を語り続けることをライフワークとされました。

キリスト教教育に基づいた保育を心がける「ひかり園」では、園児のひとりひとりに注がれる神さまの愛の語りかけを聞きながら、職員一同祈り心をもって保育指導に当たっています。どうぞ、かけがえない子どもたちの健やかな成長を、「ひかり園」の幼児教育に託していただけますように。

### ひかり園入園児募集

????

<ホームページ> <http://www.hikari-en.net>

北新潟唯一のキリスト教保育園です。乳幼児の全人格成長を祈り、目には見えない神さまの力と温かい恵みに溢れた園です。ぜひ一度ご来園ください。

園長：有田和子

Te l . 0 8 0 - 5 4 5 9 - 3 8 0 5

「ひかり園」 新潟市北区島見町2001

「ひかり広場」 新潟市北区太夫浜2505-1

## 「俳句同好会のご紹介」

教会員 阿部眞也

昨年のちょうど今頃、教会員の方から「教会や地域の方々のお交わりの一環として俳句同好会を開きたいのだが、取りまとめ役になってくれないか？」と打診がありました。

俳句とは？どんな風に作るのだろう？

俳句・短歌・川柳・詩などとは縁遠く、全く素人の私が世話役をお請けすることになりました。

昨年10月25日、第1回の俳句同好会が発足しました。素人の集まりであるが、学びの為の基本姿勢は崩さず、楽しく俳句を学ぶ方法を考えることを念頭に置いて始めました。

賛美歌、開会の短いお祈りの後、いよいよ句会が始まります。前もって準備した2~3句を発表します(投句)。短冊に書かれた無記名の句を清記し、投句された全ての俳句の中から自分の作品以外で良いと思う句を選び(選句)、句が発表されます(披露)。自分の句が選ばれた時は大きな声で名乗ります。優れた句は何度も読み上げられるので、晴れがましい気持ちになります。

句を作るにあたって、一つのことを表現するにも、たくさんの言葉で置き換えられるので、思いついたらすぐにメモを取り、ぴったりとした季語を探しながら作っていくと、身の回りの事に敏感になっている自分を発見します。

これぞと思う対象をしっかり見つめ、思いを込めて五七五のリズムに乗せ、自分の心の内を表現できた時、言葉に深みが生まれ、生き生きとした魅力的な俳句になってきます。日常生活の中でも改めて観察すると、様々なことが発見できます。ありきたりの毎日の題材から、驚きを発見する楽しみができ、俳句作りの面白さを実感できるようになりました。

選評は原山牧師がして下さいますが、作者の心の底まで読み取って講評され、励まされますので、この選評が心に響き、楽しく勇気が湧いてきます。

「辿りきて 御跡辿らん 聖地旅」

「甘い香に 夜目にアカシア わたあめか」

「新緑の 木漏れ陽渡る 鳥の声」

「もみじ葉を 水面に映す 手水鉢」

「足の蚊を 払い続く 長電話」

「雨降れば 草だけのびて ひと仕事」

「涼風や みどり児眠り 生新た」

「軒先に 憩う雀は 夫婦かな」

「青梅の まろき笑顔が 見え隠れ」

「兄なくも ふるさとに春 巡り来て」

毎月、作品をロビーに掲示しているのでご覧になっている方が多くいらっしゃると思いますが、素晴らしい俳句があることに気付きのことでしょう。一人ひとりの滑らかでみずみずしい感覚、自分の心の内を五七五のリズムに整えた句に、感心することがありませんか。

句会が終わり、お茶の時間にざっくばらんな雰囲気、句会で聞けなかった素朴な質問や選句の理由・選に漏れた句を含め、和気あいの雰囲気の中で、交わりの楽しいひと時が味わえます。メンバーが増えると話題も増え、句会のあとの交わりも更に楽しくなる事でしょう。

今日から一句・・・量をこなせば質も上がるそうです。句会にふら～あっと覗いてみませんか。その上で、ぜひ仲間になってください。どうぞ、お気軽にご参加ください。

### 俳句同好会のお誘い

日時：毎月第4火曜日

午前10時~11時30分

場所：北新潟キリスト教会

会費：200円(資料代+会場費)



〒950-3112 新潟市北区太夫浜2040-1

日本同盟基督教団 北新潟キリスト教会

牧師・原山康伸

TEL025(259)4491 (旧松浜教会、附属さんび園同窓会事務所)

<ホームページ> <http://www.kitaniigata-church.com>